同友しずおか

2019
7
VOL.488

私の逸品

シェ・ワタナベ

みんなで安心して
食べられる洋菓子を

静岡県中小企業家同友会

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。

中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会３つの目的

1 よい会社をつくろう

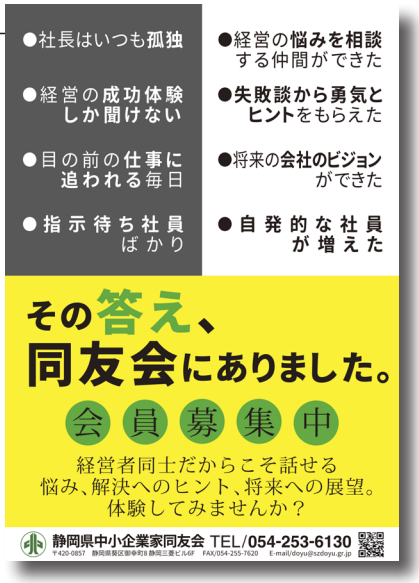
同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。



2019年度 活動方針

◆企業づくり

Ⅰ．経営指針を成文化し、すべての人が生きる企業をつくろう
Ⅱ．経営者と社員が共に育つ企業風土を確立し、時代の変化に対応できる強靭な企業になろう

◆地域づくり・経営環境づくり

Ⅰ．中小企業振興基本条例の学びを深め、地域づくりの推進役となろう
Ⅱ．関係機関との連携を深め、経営者の声で経営環境を整えよう

◆同友会づくり

Ⅰ．仲間づくりを推進し、1200名会勢を早期に実現しよう
Ⅱ．真の経営課題に気づく学びあいにより、活力ある同友会をつくろう
Ⅲ．同友会理念の学びを深め、実践で語れる会員を増やそう

新会員のご紹介 （敬称略） 会員数 1080 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
渡辺（わたなべ） 龍一（りゅういち）	三秀産業㈲ 紙・革の加工製造業、資材販売、廃棄物収集運搬業	富士	梅屋　直史
佐野（さの） 弘樹（ひろき）	㈲いちごやさん 農業（生産、販売）	富士宮	坪井　一道
長谷川建裕（はせがわたけひろ）	社会保険労務士法人ペルダ・コンサルティング 社会保険労務士業（社会保険労務、健康経営、管理職経営、社員研修、メンタルヘルス研修）	静岡	原口　富夫
河西千代子（かわにしちよこ）	㈲マルナカ河西工業 金属部品製造（アルミダイカスト製品のバリ取り加工・組立・研磨）	浜松	江間　省豪

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。

私の逸品

みんなで安心して食べられる洋菓子を

シェ・ワタナベ（沼津支部）
渡邊 隆太郎氏

渡邊 隆太郎氏

沼津市の幹線道路からほど近く、閑静な住宅地にあるシェ・ワタナベを訪問しました。

シェ・ワタナベはフランス菓子を中心とした洋菓子店で、アレルギー対応・低カロリーのケーキも販売しています。

パティシエへのきっかけ

渡邊隆太郎氏は、幼い頃からアレルギーがひどく辛い思いをしていました。

栄養士である母とシェフである父が強い思いで試行錯誤を繰り返し、アレルギーがあっても食べられるケーキを作ってくれました。甘くて美味しいケーキを食べた時の感動、幸せな気持ちが忘れられず、幼いながらも「ケーキ屋さんになりたい！」と思ったことを話してくれました。高校生になってもその決意はまっすぐなまま、洋菓子の専門学校へ進学し、下積みの経験を経て東京白金で自らのお店を経営。その後、地元沼津に戻りお店の経営を継承しました。

みんなで安心して食べられる洋菓子を

シェ・ワタナベでは、今回の逸品にもなっている食物アレルギー対応のケーキ・クッキーを製造・販売しています。お客様それぞれに違うアレルギーに対応し、注文を頂いてから作るケーキ。小麦・卵・乳・大豆を使わずに作った「グルテンフリークッキー」。アレルギー対応のケーキやクッキーの製造には、材料の保管場所から細心の注意を払って製造しています。ノンアレルギーケーキ、グルテンフリークッキーの全国配送も行っているとのことでした。また、生まれて初めてのお誕生日（ファーストバースディ）に、1才のお子様からお召し上がり頂ける、からだにやさしいケーキも製造・販売しています。このケーキは新鮮な卵と小麦粉で生地を焼き、豆乳クリームでデコレーション、北海道のてんさい糖とオリゴ糖がお腹に優しい甘さです。渡邊氏は「アレルギーのある人も、アレルギーのない人も、みんなが一緒に安心して食べられる洋菓子を届けたい」と熱い思いを話してくれました。

1才のお子様から
からだにやさしいケーキ

入会のきっかけ

入会したきっかけは会員に誘われてイントロセミナーに参加したことでした。そこで同じ中小企業経営者の悩みや本音に触れ、共感し、その場で即入会を決めたそうです。同友会に入会したことで、会社経営のあり方やお金に関する考え方などさまざまことを先輩経営者から惜しみなく教えてもらい、経営者としての成長に繋がったと話してくれました。

今後のビジョン

現在2店舗を経営し、来年さらなる新店舗をオープンする予定です。今から多くの方々に商品を提供させていただける期待感やワクワクな思いが、取材している私にも伝わってきました。また、数年後は海外への店舗展開を考えていると話していただき、近い将来沼津支部より世界に羽ばたく経営者がでると、渡邊氏の表情を見て確信しました。

グルテンフリーのクッキー

記事・取材：大場 豪文氏
（㈱文豪社・沼津支部）

シェ・ワタナベ
〒410-0062　沼津市宮前町7-7
TEL：055-923-0141
URL：http://www.chezwatanabe.com/

創業　1992年
社員数　正規４名　パート11名
入会年月　2016年４月
事業内容　洋菓子の製造販売

会員訪問記

女性経営者、挑戦の軌跡！さらなる顧客満足を目指して学び続ける！

ラウンジ ジャジーラ 代表 石山 美歌氏（御殿場支部）

石山美歌氏（右から2人目）と御殿場支部取材陣

御殿場駅から徒歩3分で訪問先の「ラウンジ ジャジーラ」に到着です。代表の石山美歌氏は、2019年1月に入会した新人会員。市内でスナック・バーを経営しています。市内でも有数の人気店であり、店内は清潔感があり落ち着いた雰囲気。石山さんのセンスの良さを感じさせます。今年で創業18年の人気店は、どのように成長していったのでしょうか。

市内では前代未聞！24歳でスナックを起業！

石山氏が起業したのは2001年、24歳のときでした。人に喜んでもらうのが好きで飲食店をもつことが夢だった石山氏は、レストランやスナックで勤務した経験を活かし、独立・開業。自身の理想のお店創りをスタートさせました。「店舗名のジャジーラはアラビア語で島という意味です。響きや字の雰囲気で決めました。そのときは若くて何も考えていませんでした」そう笑って話す石山氏。当時の御殿場で24歳という若い女性が個人で店舗をもつという例はありませんでした。老舗の同業他社や顧客に認めてもらうため、必死でがんばってきたとのことです。18年の積み重ねの中で、自分なりの経営方針・従業員教育・ファン創造を試行し、今のジャジーラがあるのでした。

想いをカタチに！「イシヤマミカお笑い学校教訓」？

開業後、キャリアが浅く若い石山氏には苦難の連続でした。特に、自分と齢の変わらない従業員への教育は難問でした。そのために、店舗の接客方針を自分なりの言葉で書きとめ、従業員と共有することにしました。それが「イシヤマミカお笑い学校教訓」です。石山氏は当時からのメモや書き足した膨大なそれを見せながら「今になって見返すと、経営理念というにはあまりにもひどい内容です（笑）。ですが、若くて経験のない私が自分の理想をカタチにする上で、軸になってくれたと思っています。女の子たちにも自分の想いを知ってもらうよいツールになりました」と話してくれました。今のジャジーラを創りあげたのは、石山氏の熱意と努力の積み重ねによるものだと感じました。教訓には「気づける女子になって欲しい」という想いも。それについては「私はこういった業種でしか通用しない女の子を育てているつもりはないんです。仕事を通じて、どこでも通用するような女子力を身につけ、ステキな女性になって欲しいと思っているんです」と語ってくれました。

店内にて石山美歌氏（左奥）

進化する想い。新しい経営スタイルを目指して！

同友会に入会した石山氏は、さらなる「人との出会い・繋がり」に期待をしているとのこと。また、経営者としてもう一歩踏み込んだ知識やスキルを身につけたいとのことでした。今後の展望として話してくれたのは「カウンセリング」について。お客様の多くは男性ですが、お酒がすすむと仕事や家庭の悩みを相談されることもしばしば。そんなときのためにカウンセリングについて専門的に学び、悩みを抱える人たちの役に立てるようになりたい、またそういうサービスを加えていきたいとのことでした。その形態はスナックにこだわらず・男女を問わずとのこと。経営者・石山美歌氏の挑戦は、同友会での学びを得て、さらに加速・発展していくようです。

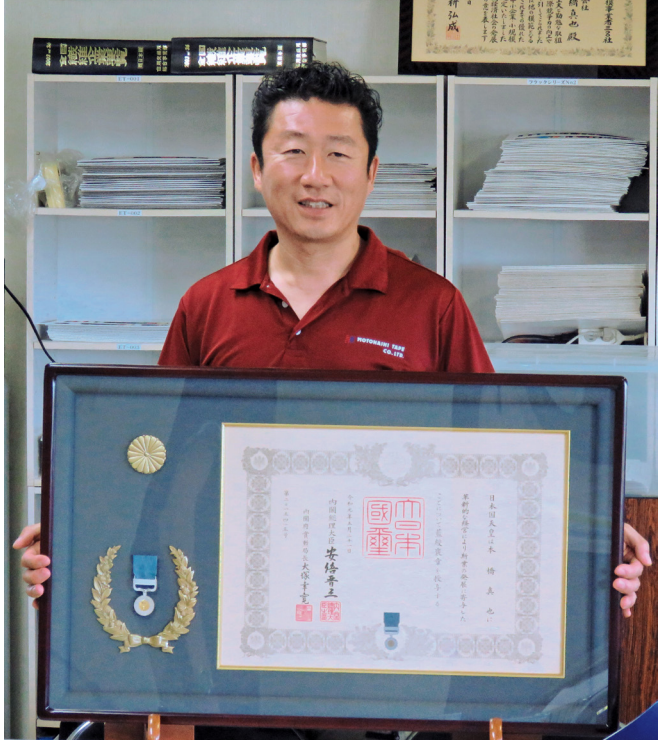
取材：御殿場支部　組織広報委員会
取材：岡村 武典氏（合同会社岡村商店・御殿場支部）
取材・撮影：勝間田 誠氏（㈱文化堂・御殿場支部）
取材・撮影：片野 貴一郎氏（㈱モスク・クリエーション・御殿場支部）
取材・記事：岩渕 貴司氏（㈱KTSオペレーション THE GOTEMBAKAN・御殿場支部）

ラウンジ ジャジーラ
〒412-0043　御殿場市新橋2032-11
TEL：0550-84-6200

創業　2001年
社員数　1名（アルバイト15名）
入会年月　2019年1月
事業内容　飲食・サービス業、スナック経営、バー等

令和元年春の栄典

経営革新功績で藍綬褒章を受章



本橋テープ㈱
本橋真也社長へインタビュー

本橋テープの歩み

本橋テープ㈱は榛原郡吉田町で細幅織物の製造・販売を営む会社です。細幅織物とは巾13cm未満の織物であり、バッグのショルダーベルトや車のシートベルト等に幅広く使用されています。

1962年に浜松のテープ屋の下請けとして始まった同社は、従来BtoBの取引が主でしたが現在はOEMや消費者向けの商品開発に注力し、BtoCの取引拡大を進めています。自社ブランドの商品としてトートバッグやハンモックチェア、ハンギングチェーン等がありメディアでも多数取り上げられています。

新分野への挑戦と経営革新

同社は過去2回、経営革新の承認を受けています。1回目は2007年に「付属品（テープ）メーカーから完成品をメーカーへ提案する新分野への進出」のテーマで取得、下請けから提案型の企業へと自社の可能性を広げていきます。2回目は「LOOTEE（ルーティー）」という新製品開発・販売の設備投資のために申請をし、2013年に承認を受けました。「LOOTEE」はデザインと強度を併せ持ち、洋服掛けやベルト、靴紐など多様な使い方のできる多機能テープです。この製品をもとに新たな自社商品の開発にも繋がりました。経営革新の取得を通して、自分たちの進む道ができたと本橋氏は語ります。実際に経営革新の承認を受けて補助金を活用し、新商品開発と売上の増加に繋がった実績が評価され、「静岡県経営革新最優秀賞」を2017年に受賞しました。

「地域産業として細幅織物を盛り上げたい」

その想いから、本橋氏は県の中小企業地域資源活用プログラムに応募し、2017年に吉田町の地域産業資源として細幅織物が認定されました。この認定を受けるには自社だけでなく、業界全体の知名度を上げる必要がありました。そこで、商工会と協力し同業者と「いとへんの会」を立ち上げ、メディア出演やイベント出展などのPR活動を熱心に行ってきました。今回の受章で同業者から「ありがとう」と言ってもらえ、とても嬉しかったと語る本橋氏。細幅織物の業界を盛り上げたい本橋氏の経営実践が「経営革新功績」として評価され、業界の産業振興に寄与した者に授与される「藍綬褒章」に繋がりました。

受章をチャンスにさらなる一手

細幅織物を製造する会社は吉田町と隣町の旧榛原町を中心に現在15軒ほど。後継者不足を抱え廃業する業者が多く、以前150軒ほどあった業者は1／10にまで減少しました。本橋氏は「自社の社員から独立する人を育てたい」と言います。独立は会社にとって決してネガティブな要素ではなく、お互いがよきパートナーとなれば、新たなマーケットの創出や産業全体の盛り上がりに繋がると考えています。

今回の受章を細幅織物の認知度を上げるチャンスと捉え、「この勢いに乗ってすぐに次の一手を打つ」と話す本橋氏。「細幅織物に〝マジックテープ〟や〝マスキングテープ〟のような、世間一般に通用する『名前』をつけたい」と、かねてからの夢の実現に向けて、スタートを切っています。

自社ブランド「拵（こしらえ）」のトートバッグ

LOOTEE（ループの強度は40kg程度）

取材：河内 崇文氏（㈱スマートブレイン・榛南支部）
取材：岸端 千奈津氏（栄保㈱・榛南支部）

本橋テープ㈱
代表取締役　本橋 真也氏
サブマネージャー　酒井 英字氏
（榛南支部会員）
〒421-0301
榛原郡吉田町住吉3216-5
TEL：0548-32-2567
URL：http://www.motohashi-tape.co.jp

東部・中西部に分かれ、県組織増強委員会を開催！

支部での取り組みやエリア内での連携について協議

6月の県組織増強委員会では、東部エリア（伊東・御殿場・三島・沼津・富士・富士宮の6支部）と中西部エリア（静岡・志太・榛南・中遠・浜松の5支部）のそれぞれで委員会を開催しました。当日は、それぞれの支部における増強活動の取り組みや課題の共有がされ、各支部で役員会や例会企画委員会などと連携し、支部増強目標の達成に向けた増強計画の作成に取り組むことや、アタック25を活用した積極的な訪問、エリア内で支部を超えた連携を進めていくことが確認されました。また、委員会の中では「仲間を増やし、新たな風を吹き込むことがより充実した学びの場につながる」との意見が出るなど、現状と向き合いながらも前向きな意見交換の時間となりました。

7月もそれぞれのエリアで委員会を開催します！

東部エリア：7月19日（金）
19：00～　プラサヴェルデ（沼津市）

中西部エリア：7月12日（金）
19：00～　同友会事務局（静岡市）

また、7月17日（水）には沼津支部でもイントロセミナーを開催します。他支部からの参加も受け付けておりますので、ぜひオブザーバーをお誘いの上、ご参加ください！

県組織増強委員長よりひとこと

海野　敦氏

5月に行われた県定時総会で「18年間連続入会を続ける福友支部の実践報告」を聞き、改めて「増やさなければだめだ」と強く感じました。そのような中で、県組織増強委員会としてはより多くの方に委員会に出席していただきたいと思っております。6月の委員会は両日合計で10名を超える参加があり、より広く深い情報共有ができたと感じました。しかし、静岡同友会が2019年度基本方針に掲げている「1200名会勢の早期実現」「今年度中達成」は、委員会のメンバーだけでは達成することができません。「同友会って面白い」「目標となる先輩がいる」「本当の意味での仲間が出来る」など、皆さんが感じている同友会の魅力をぜひお知り合いの経営者に伝え続け、例会や委員会にお誘いいただけると嬉しいです。同友会の仲間の輪をどんどん広げていきましょう！

海野　敦氏（海野サッシ商会・静岡支部／県組織増強委員長）

県イントロセミナーは毎月第４金曜日に開催しています！

2019年度イントロセミナー　スケジュール

開催日	会場	報告者
７月26日（金）19：00	同友会事務局	大多和 宏明氏（㈲静清鉄工・静岡支部）
８月23日（金）19：00	同友会事務局	大石 智一氏（㈱大成社・富士支部）
９月27日（金）19：00	同友会事務局	関 那積氏（㈱中部特機設備・静岡支部）
10月25日（金）19：00	同友会事務局	中村 功尚氏（NK 設備㈱・榛南支部）
11月22日（金）19：00	同友会事務局	調整中
12月20日（金）19：00	同友会事務局	調整中
１月24日（金）19：00	同友会事務局	調整中
２月21日（金）19：00	同友会事務局	調整中
３月27日（金）19：00	同友会事務局	調整中

富士・富士宮合同例会

地域に根ざし、100年ものあいだ 地元に愛される企業とは

6月20日（木）樟泉閣　79名

6月20日（木）に富士市の樟泉閣にて、毎年恒例となっている富士・富士宮合同例会を開催。講師に京都同友会会員である人見明氏（人見建設㈱ 代表取締役会長）、人見毅氏（人見建設㈱ 代表取締役社長）の2名をお招きし、中小企業において大きな課題となっている「事業承継」について、同友会での学びと実践を合わせてお話いただきました。当日参加者の感想をご紹介します。

今回の例会のテーマが「同友会で学んで実践、理念を繋いだ事業承継」。まさに私がこれから控える大きな問題の1つであり、すぐに参加を決めました。最近はご無沙汰をしていた現社長である父も同行し、同じ建設業者として、また事業承継を控える身として、真剣にお話しを聞かせて頂きました。報告では人見明氏が先代から引き継いできた会社への思いと、それを受け継ぐ人見毅氏の思いが同じ方向を向いて、今現在は5年の期限を決め、2人代表で会社を経営されているとのことでした。さらには親子で京都同友会中京支部の支部長を歴任し、社内では理念経営を実践されているお二方の姿が、まさに自分たちの目指す会社そのものに感じました。現在、経営理念を成文化していない弊社にとって、まずはその一歩を踏み出さねばならないと痛感させられました。また、100年存続する企業は全国的に見てもほんの一握りしかいません。弊社も今年で創業から62年になります。地域に住まうお客様の為にも、人見建設様のような地域に必要とされる100年企業を目指して、日々努力を続けていきたいと思います。

人見 明氏

人見 毅氏

磯辺 嘉将氏（㈱磯辺建設・富士宮支部）

グループ長研修in浜松（中遠・浜松合同例会）

28名が参加し、グループ長の役割を共有

6月18日（火）ザザシティ浜松中央館　5階　参加：28名

6月18日（火）にザザシティ浜松中央館にて中遠・浜松合同例会としてグループ長研修を開催。毎月の例会の学びをより深め、社内での実践に繋げるため、6支部から24名が参加しました。また、4名のオブザーバーの参加（うち1名が入会）もあり、同友会の例会を体験してもらえる機会となりました。

はじめに稲原研氏（松屋電気商会・富士宮支部）より「グループ長の役割」について、心構えや実際の進め方の説明がありました。その中で稲原氏より「参加者が例会に満足できるかはグループ討論次第。とりわけその舵取りをするグループ長は大きな役割を担っている」との話がありました。

続いて池原智彦氏（㈲池原商会・志太支部）が自社の現状と現在の課題について報告。その後「あなたの悩みはなんですか?」をテーマにグループ討論となりました。グループ討論は短い時間ではありましたが、4グループでそれぞれ3名、計12名がグループ長を務め、実際に体験しながらグループ長の役割を振り返りました。

最後に宮田博文氏（㈲ミヤタ印刷・県例会企画委員長／静岡支部）より「グループ長の経験は必ず自社経営にもプラスになると思う。まだグループ長を経験したことがない方も積極的にチャレンジし、普段の例会で多くの学びを持ち帰って欲しい」とのまとめがありました。

参加者からは「支部に持ち帰り、例会のさらなる充実を図っていきたい」「グループ長の役割は自社の会議においても同じことが言えると思った。社内の会議でも意識して実践していきたい」「今までは避けていたが、できる限りチャレンジしたい」との感想をいただきました。次回は全県経営フォーラムin中遠に向けて、静岡市でグループ長研修を開催する予定です。多くのご参加お待ちしています！

グループ長研修

同友しずおか　静岡県中小企業家同友会　コミュニケーションマガジン　2019年7月10日号　通巻488号　定価200円

7月・8月 DOYU CALENDAR

7月16日㈫～8月15日㈭

7月 16日(火)	浜松例会（19:00　ザザシティ中央館）
17日(水)	沼津イントロセミナー（19:00　沼津商工会議所） 伊東例会（19:00　伊東市健康福祉センター） 志太例会（18:30　藤枝文化センター）
18日(木)	榛南例会（19:00　さざんか） 中遠例会（19:00　ワークピア磐田） 富士例会（19:00　ロゼシアター）
19日(金)	県組織増強委員会（東部開催） （19:00　プラサヴェルデ） 県障がい者問題委員会（東部意見交換会） （19:00　プラサヴェルデ）
22日(月)	三島例会（19:00　三島商工会議所） 第16期経営指針を創る会④ （19:00　同友会事務局）
24日(水)	県例会企画委員会（19:00　同友会事務局） 県理事会（17:00　同友会事務局）
26日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私～」 （19:00　同友会事務局）
30日(火)	県共同求人委員会（19:00　同友会事務局）

8月 2日(金)	総務財務委員会（16:00　同友会事務局）
4日(日)	三島家族納涼会 （8:30　富士山世界遺産センターほか）
5日(月)	静岡県経済産業部との意見交換会 （15:00　同友会事務局）
6日(火)	志太納涼例会 （19:00　藤枝四川飯店） 静岡納涼例会 （19:00　ホテルセンチュリー静岡）
7日(水)	御殿場納涼例会 （19:00　THE GOTEMBAKAN） 正副代表理事会 （17:00　同友会事務局）
9日(金)	第16期経営指針を創る会⑤ （19:00　同友会事務局） 富士宮納涼例会 （19:00　志ほ川　バイパス店）

《あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください》

2019年6月期　景況調査（速報値）を記者発表

静岡同友会政策委員会は7月2日（火）静岡市政記者室にて、2019年6月期調査「第40回景況調査集計結果（速報）」の記者発表を行いました。同友会からは今野政策委員長、松下副委員長、顧問の山本教授（静岡大学）、秋山事務局長が参加し、静岡新聞社に結果概要を説明しました。静岡新聞には7月3日（水）朝刊に掲載頂きました。

6月期の調査結果は、前回2018年12月期調査に比べ、全体として景況感が下降している結果が見て取れました。会員361社からの回答をみると、「現在の業況判断」を「良い・やや良い」と答えた企業は31.9%（前回12月期37.6%）、反対に「悪い・やや悪い」は29.4%（前回24.4%）でした。「業況判断DI」はその割合の差をとり、今回3（前回13）とプラス値（良い・やや良いの企業のほうが多い）を示していますが、前回調査よりも10ポイント下降しています。特に建設35（前回38）、サービス3（前回7）はプラス値ですが、製造は▲8（前回29）と、37ポイントも大きく落ち込みました。「6ヶ月先」と「1年先」も厳しく捉えており、今後の経済情勢（米中をはじめとした貿易摩擦、消費増税後の影響、東京オリンピック後の影響など）に予断を許さない結果が出たことを報道機関に説明しました。

景況調査の速報集計を同封していますのでぜひご覧ください。7月末には地域別・業種別・規模別の詳しい集計結果を「e.doyu掲示板」と「静岡同友会ＨＰ」に掲載予定です。

◆全国大会のご案内◆　**お申込み・詳細については同友会事務局までお問い合わせください。青年経営者全国交流会については同封のパンフレットをご覧ください。ＴＥＬ：054-253-6130　mail: doyu@szdoyu.gr.jp**

2019年8月29日（木）～30日（金）
会場：ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING（ＪＲ盛岡駅前）
参加費：18,000円（夕食交流会代含む）※宿泊・交通費別途

静岡同友会Facebookページ

静岡同友会Facebookページで、会員企業訪問の様子や各支部例会の案内を掲載しています。ぜひご覧ください！

発行所：静岡県中小企業家同友会　doyu@szdoyu.gr.jp　／　編集者：県広報情報化委員会
〒420-0857 静岡市葵区御幸町8 静岡三菱ビル6階　TEL：054-253-6130（代表）　FAX：054-255-7620　http://www.szdoyu.gr.jp